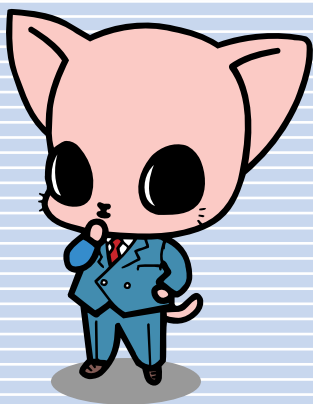


S H I M A N E B A N K

し	ま	ぎ	ん	の
経	営	情	報	

2004年(平成16年) **12月期**
【単体ベース】



SHIMANE 島根銀行

I 営業実績

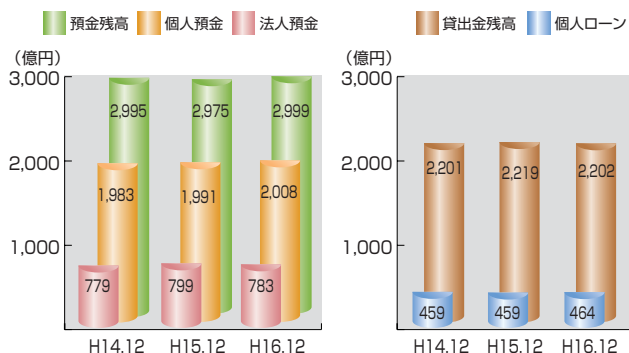
収益性の
バロメータ

平成16年12月期の預金・貸出金・個人預り資産の状況および平成17年3月期の業績予想は次のとおりです。

預金・貸出金

(百万円)

	平成14年12月期	平成15年12月期	平成16年12月期
預金残高	299,517	297,528	299,906
うち個人預金	198,333	199,169	200,883
うち法人預金	77,901	79,909	78,384
貸出金残高	220,177	221,980	220,283
うち個人ローン	45,904	45,906	46,419



個人預り資産

(百万円)

	平成14年12月期	平成15年12月期	平成16年12月期
個人預り資産	198,968	205,836	212,441
個人預金	198,333	199,169	200,883
投資信託	377	1,107	2,418
公共債	66	515	972
年金保険	190	5,043	8,167

業績予想

平成17年3月期予想値 (億円)

経常収益	71
経常費用	65
業務純益	16
経常利益	6
当期純利益	3

※上記の予想値は、経営環境に関する前提条件の変化に伴い変動することがあります。

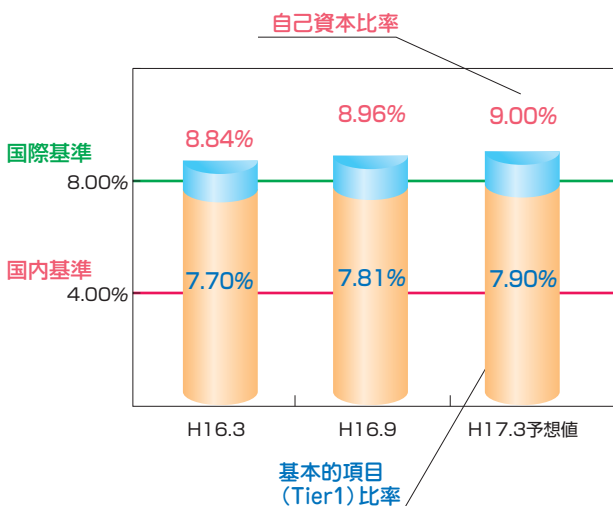
自己資本比率

健全性・安全性
のバロメータ

自己資本比率は、銀行が保有する貸出金や有価証券等の資産に対し、資本金や引当金等の内部資金をどの程度保有しているかを見る指標であり、銀行の健全性を示す重要な指標です。

	平成16年3月期 実績値	平成16年9月期 実績値	平成17年3月期 予想値
自己資本比率	8.84%	8.96%	9.00%程度
基本的項目(Tier1)比率	7.70%	7.81%	7.90%程度

※上記の予想値は、経営環境に関する前提条件の変化に伴い変動することがあります。



自己資本比率について

- ◆当行のように国内基準の対象となる銀行では、自己資本比率が4%以上あることが求められています。
- ◆平成16年9月期の自己資本比率は8.96%であり、国内基準の4%はもちろんのこと、国際基準（海外店舗を持つ銀行の基準）の8%も余裕をもってクリアしています。なお、平成17年3月期は、9.00%程度を予想しています。

基本的項目(Tier1)比率について

- ◆基本的項目(Tier1)比率とは、自己資本の根幹を成す「基本的項目」（資本金や剰余金など）によって算出される比率のことです。
- ◆平成17年3月期は7.90%程度を予想しており、この比率だけでみても国内基準の4%をクリアする見込みです。

不良債権

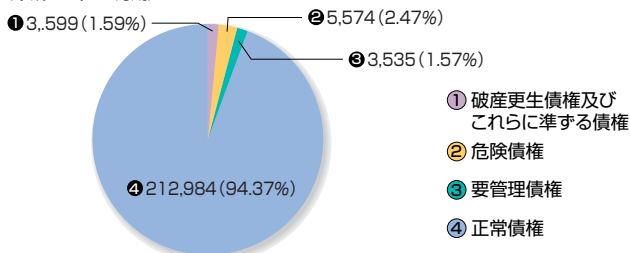
健全性の
バロメータ

金融再生法に基づく資産査定開示額（貸出金及び支払承諾等貸出金に準ずる債権を対象）は次のとおりです。

（百万円）

債権の区分	平成14年12月期	平成15年12月期	平成16年12月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,547	3,861	3,599
危険債権	4,978	4,300	5,574
要管理債権	2,838	3,837	3,535
計	10,365	11,999	12,709
不良債権の割合	4.55%	5.25%	5.63%
正常債権	217,333	216,181	212,984
合計	227,698	228,181	225,694

（平成16年12月期）



※平成16年12月期の不良債権の開示について

- ・平成16年9月末から平成16年12月末までの倒産・不渡り等の事実ならびに当行の資産自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行いました。
- ・平成16年12月期の不良債権残高には、債務者区分の変更と認められる債務者の債権額またはこの間の増減額を反映しています。
- ・集計方法については、年度末及び中間期末に開示する際の方法とは異なるため、計数は連続しておりません。（監査法人の意見は決算期に受けることになります。）

有価証券

健全性の
バロメータ

平成16年12月期の有価証券の評価損益等は次のとおりです。

運用残高

（億円）

		平成14年12月期	平成15年12月期	平成16年12月期
満期保有目的の債券	含み損益	1.1	▲3.5	▲3.1
その他有価証券	評価差額	▲32.1	▲22.1	▲9.7
内 訳	債 券	0.5	▲8.7	▲4.0
	株 式	▲16.1	▲4.3	▲2.7
	そ の 他	▲16.5	▲9.0	▲3.0

※「売買目的の有価証券」はありません。

※「子会社・関連会社株式」で時価のあるものはありません。

※「評価差額」及び「含み損益」は、それぞれ帳簿価格（平成14年12月期及び平成15年12月期は償却原価法適用前、減損処理前で、平成16年12月期は償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

※「株式」及び「その他」に含まれる投資信託等の評価差額は、平成14年12月期は月末時価で、平成15年12月期及び平成16年12月期は月中平均時価に変更して表示しております。

しまぎんとピックアップ

◆「ISO認証取得支援サービス」の取扱い開始

(平成16年12月10日)

当地におけるISO(国際標準化機構)認証取得ニーズの高まりを受け、当行では平成16年4月より運用を開始した「しまぎんビジネス情報仲介制度」のスキームを活用し、コンサルタント会社(株式会社エフアンドエム)との提携による「ISO認証取得支援サービス」の取扱いを開始しました。

取得企業の品質管理等における信頼性向上によって販路拡大等の効果が期待され、地域経済の活性化に寄与するものと考えております。

◆「しまぎんビジネスローンサポート^{プラス}」の取扱い開始

(平成16年12月15日)



リレーションシップ・バンキングの機能強化計画に基づく「担保・保証に過度に依存しないビジネスローンの拡充」に向けた取組みとして、中国税理士協同組合との提携によるビジネスローンの取扱いを開始しました。

◆「証券会社への顧客紹介業務」の取扱い開始

(平成17年1月11日)

SHIMANE 島根銀行

 **新光証券**

お客様の多様化する金融資産運用ニーズに幅広く対応するため、新光証券と業務提携を行い、証券取引ニーズのある当行のお客様を新光証券に紹介するサービスを開始しました。

株式や外国債券等での資産運用を希望するお客様を提携先の新光証券にご紹介させていただきます。

(注意)

- ・当行からお客様に対して直接、有価証券の勧誘やご説明をすることはできません。
- ・当行の業務範囲としましては、お客様のご要望に応じて提携先である新光証券をご紹介させていただくことのみに限られます。

※商品やサービスに関するご質問やご相談につきましては、各支店の担当者までお問合せ下さい。

〔しまぎん店舗のご案内〕

■島根県(26カ店・1出張所)

◎松江市(11カ店)

本店営業部 TEL(0852)24-1234
殿町支店 TEL(0852)23-8171
松江駅前支店 TEL(0852)24-1351
南支店 TEL(0852)24-1251
学園通支店 TEL(0852)21-2120
北支店 TEL(0852)24-1451
津田支店 TEL(0852)24-1551
松江卸団地支店 TEL(0852)24-1651
山代支店 TEL(0852)24-1751
アピア支店 TEL(0852)23-7777
上乃木支店 TEL(0852)22-7755

◎隠岐郡(1カ店)

西郷支店 TEL(08512)2-1224

◎安来市(1カ店)

安来支店 TEL(0854)22-3535

◎雲南市(2カ店)

大東支店 TEL(0854)43-2621
木次支店 TEL(0854)42-0860

◎出雲市(3カ店・1出張所)

出雲支店 TEL(0853)30-6611
出雲東支店 TEL(0853)22-5260
出雲中央支店 TEL(0853)23-6262
新町プラザ出張所 TEL(0853)21-1630

◎簸川郡(2カ店)

大社支店 TEL(0853)53-2142
斐川支店 TEL(0853)72-5200

◎平田市(1カ店)

平田支店 TEL(0853)62-2314

◎大田市(1カ店)

大田支店 TEL(0854)82-0395

◎江津市(1カ店)

江津支店 TEL(0855)52-2626

◎浜田市(1カ店)

浜田支店 TEL(0855)22-0276

◎益田市(2カ店)

益田支店 TEL(0856)22-2222
益田北支店 TEL(0856)23-4455

■鳥取県(9カ店)

◎米子市(4カ店)

米子支店 TEL(0859)34-3131
角盤町支店 TEL(0859)32-5121
米子駅前支店 TEL(0859)33-5221
米子東支店 TEL(0859)22-7370

◎境港市(1カ店)

境支店 TEL(0859)42-3761

◎日野郡(1カ店)

根雨支店 TEL(0859)72-0371

◎倉吉市(1カ店)

倉吉支店 TEL(0858)22-4158

◎鳥取市(2カ店)

鳥取支店 TEL(0857)22-3118
鳥取駅南支店 TEL(0857)24-8141

本ミニ・ディスクロージャー誌は、しまぎんの主要な経営情報をタイムリーに、また、分かりやすくお伝えすることを目的として作成しております。

今後も地域のみなさまに、積極的な経営内容の情報開示をおこなってまいります。

なお、本誌記載の情報は当行ホームページに掲載しております。

島根銀行 (平成17年1月発行)

お問合せ先：業務企画グループ

松江市東本町2-35 〒690-0842

TEL.0852-24-1234 (代表)

URL.<http://www.shimagin.co.jp>